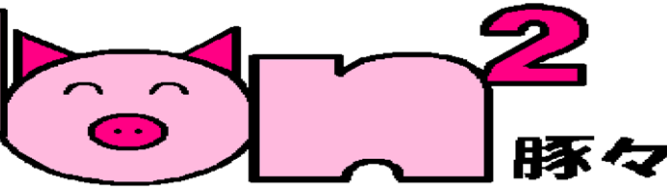


食肉衛生検査情報



〈今月の特集〉

係留中の休息がもつ意味合い



と畜場に運び込まれた豚はまず係留所に降ろされます。係留所では、休息する時間を与えることが重要となります。それではなぜ、と殺前の豚には休息が必要なのでしょう？

搬入された豚はどんな状態？

運搬車への積み込みからと畜場への搬入までの間、豚はかなりのストレスを受けています。

こうしたストレスは、肉が水っぽくなるPSE肉、反対に締まりすぎて硬くなるDFD肉、筋肉の出血（スポット）等、枝肉の肉質を損なう原因と深い関係があると考えられています。

ですので、と畜場に到着したら休息を与え、ストレスから回復をはかることが必要となります。

1つだけではない休息の効果

係留所での休息時間の確保は、その間に十分な生体洗浄を行うことができるので、枝肉の汚染がぐっと抑えられることになります。加えて、休息の間には排泄を促すことにもなり、腸管内容物の減少により処理工程での枝肉汚染防止につながります。

枝肉の糞便汚染は、商品価値の低下を招くので最も注意したいところです（満腹のまま解体されることの影響については、8月号の記事をご一読ください）。

8月号はココで読めます！→



命をいただくということ

豚は生産者の方々にとって文字どおり生活の糧であるとともに、消費者の血となり肉となるものです。そして、と畜場に運び込まれてくる豚はその時点で生きているものであり、最期まで命の尊厳が守られる必要があります。

と殺される直前まで苦痛やストレスの軽減に努めること、これこそ動物福祉（アニマルウェルフェア）が声高に叫ばれる現在、わたしたち関係者の責務なのではないでしょうか。

豚に休息が必要な理由は、次の3つです。

参考：豚のと場のアニマルウェルフェアの改善－2021年版

①ストレスを軽減させるため、②解体作業を衛生的に行うため、③動物の福祉（アニマルウェルフェア）に資するため

生産者・搬入者の方へ



休息確保のため、時間に余裕のある搬入をお願いします！